日本共産党　岡山市議会議員
林じゅんニュース

2017年1月15日
NO. 35
日本共産党
岡山市議団
岡山市北区
大供1-1-1
Tel086-803-1707
Fax086-234-9388

認定こども園のメリットは欺瞞

十一月議会の保健福祉委員会で審査した案件に今幼稚園と鹿田保育園・鹿田幼稚園を認定こども園にするための予算がありました。

私は、法的な位置づけの変更は保育の公的責任の後退につながる、メリットとされるものが本当はメリットではない、という理由で反対しました。

児童福祉法は自治体に保育所での保育義務を定めています。

しかし認定こども園は保育義務から除かれており、保育の公的責任の後退に繋がります。

また市は次のことを幼稚園が認定こども園に移行するメリットとしています。

○保護者の就労等に関わらず、小学校就学まで同じクラスで共同生活できる○地域の子育て支援充実（法的義務）○充実した職員配置○保育室、遊戯室等にエアコン設置○自家用自動車での送迎も可○一時預かりの実施○給食の実施

幼稚園でもやっていること、やればできるのにやっていないだけのこと、認定こども園の必要と基準に応じてやっているだけのことです。本質的なメリットではありません。

欺瞞的な説明で移行を誘導すべきではありません。

病児保育が拡大

南区泉田で三月に「ピオーネ病児院（仮称）」がオープンする予定です。定員は五人です。

北区の病児保育ルームドレミ（表町）、うらら病児保育園（神田町）、チャイルド・ケアハーモニィ（撫川）、中区の病児保育室みらい（清水）、南区の山陽ちびっこ療育園（大福）と合わせて市内六施設体制になります。

ふれあいと活気にあふれ、住む喜びに満ちたまち　中区

十二月二十六日の中区区別計画調査特別委員会で中区のまちづくりの計画の素案がまとまりました。「ふれあいと活気にあふれ、住む喜びに満ちたまち中区」がキャッチフレーズに決まりました。

同じ日から新築された区役所での業務が始まっています。

右は、中区役所の模型です。旧区役所は取り壊され、写真手前の平面駐車場になります。

オンブズマンに一八三万円

十一月定例岡山市議会で全会一致で可決した議案の一つに「甲第283号議案 調停について」がありました。

二〇一一年度の政務調査費の裁判でかかった費用について、旧岡山市弁護士会報酬基準を基本に事情を総合的に勘案した結果、一八三万円あまりを岡山市が市民オンブズマンおかやまに支払うというものです。

時々、変な訴えをする、と思うこともありますが、今のところ岡山市で政務活動費のとんでもない使途が出てこないのはオンブズマンの訴訟の効き目もあると思います。

二〇一一年度分の裁判では、日本共産党市議団の使途は全て認められ、返還は0円でした。

オカモビ実証実験

岡山市が、超小型モビリティ実証実験プロジェクト「オカモビ」を実施しました。

超小型モビリティとは一人～二人乗りの超小型電気自動車で「自転車や自動車・公共交通機関での移動の補完や、自動車を共有して活用するシェアリングなどにより、車の総量抑制と道路空間に余裕を生み出す可能性も秘めている」とされています。

私も利用してみました。

面白い乗り物でCO2削減にもなりそうですが、自家用車の分担率が高い街で成り立つのか、カーシェアリングにシフトしていけるのか、よく検討する必要があります。

年金の陳情不採択

十一月議会で審査された陳情に年金者組合岡山市4区支部から出された「年金の支給を二ヶ月ごとから毎月にするよう国に意見を出して欲しい」という陳情がありました。

水光熱費、家賃等を始め、生活費は月単位で組み立てられています。当然の要求です。

日本共産党と市民ネットが賛成しましたが、公明党、自民党、創政会が反対し、不採択になりました。

なんでも！生活相談

生活・法律相談　第一月曜日に相談日を設けています。086-273-2221へご予約下さい。